Vene Investment

COUNTRY RISK REPORT

No.２６６　　２０２２年８月１４日（日曜）

今週のテーマ

１．　一週間のまとめ
（１）　与党陣営の動き
～与野党協議　８月中旬再開は困難～
・・・・・・・・・・・・・・・・ １p

（２）　野党陣営の動き
～AD　予備選の統一候補を発表～
・・・・・・・・・・・・・・・・ ３p

（３）　外国の動き
～ベネズエラ・コロンビア　大使任命～
・・・・・・・・・・・・・・・・ ４p

（４）　今週、来週の主なイベント
・・・・・・・・・・・・・・・・ ５p

（５）　債券の元利支払い状況
・・・・・・・・・・・・・・・・ ６p

２．急進野党政治家
娘婿の汚職ネットワーク
・・・・・・・・・・・・・・・・ ７p

３．ベネズエラの GOLD 違法採掘
・・・・・・・・・・・・・・・・ １０p

債券指標の動き

４．ベネズエラ債券・経済指標の増減
・・・・・・・・・・・・・・・・ １３p

カントリーリスク分析

（写真）コロンビアのグスタボ・ペトロ新大統領 Twitter より
”８月７日　コロンビアにペトロ政権発足、大使を任命”

一週間のまとめ（８月７日～８月１３日）

（１）与党陣営の動き　～与野党協議　８月中旬再開は困難～

主要野党は８月中旬の与野党協議再開を目指しており、再開に向けた一定の進歩があるとの見解を示していた。仮にこの発言通りにいけば来週中には与野党協議が再開することになる。

しかし、筆者の認識では来週中の与野党協議再開は困難だ。

マドゥロ政権は、協議の再開には米国で拘束されているアレックス・サアブ氏の解放が条件だと主張している。

サアブ氏は米国の制裁回避スキームを作った人物とされ、イランとベネズエラの取引をつなげた立役者とされている。米国政府がサアブ氏に制裁をかけ、その後カボベルデで拘束され、２１年１０月に米国へ引き渡された（詳細は「ウィークリーレポート No.222」）。

POINT

マドゥロ政権　アルゼンチンで拘束されている飛行機・パイロットの返還を要求。

返還しなければ、与野党協議は再開しないと宣言。

８月中旬の協議再開は絶望的か。

２１年当時、与野党協議は行われていたが、サアブ氏の身柄が米国に送られたことでマドゥロ政権は米国の約束違反を理由に協議中断を宣言。

マドゥロ政権としては、協議中断の理由となったサアブ氏の解放が協議再開の条件であると主張。しかし、米国側はこの提案に乗らず、協議再開の目途がたたないまま現在に至っている。

この条件だけでも解決は困難だが、マドゥロ政権は協議再開に新たな条件を課した。

２２年６月　アルゼンチンでベネズエラ国営会社「Conviasa」の子会社「Emtrasur」の飛行機が移動できなくなった。理由は、この飛行機「Boeing７４７」が米国の制裁対象になっており、パイロットのうちの数人が、米国がテロ組織指定しているイランの「イスラム革命防衛隊」の関係者だったという指摘があるため（詳細は「ウィークリーレポート No.259」を参照されたい）。

米国政府は、パイロットのメンバーの数名がテロ組織の一員だったと指摘。
アルゼンチンに対して、「Boeing７４７」についても米国への引き渡しを要請し、アルゼンチン裁判所はこの要請を受け入れた。

マドゥロ政権は、一連の出来事を事実無根と主張。
アルゼンチン政府に対して飛行機と乗組員の即時解放を求めている。

そして、飛行機と乗組員の解放が与野党協議再開の条件と主張しており、協議再開に暗雲が立ち込めている（「ベネズエラ・トゥデイ No.791」）。

少なくとも１週間でこれらの問題が解決するとは考えにくく、８月中旬の協議再開は難しいのではないか。

POINT

AD　ラモス・アジュップ氏の右腕カルロス・プロスペリ氏（下写真の男性）を予備選の AD 推薦候補にすると報じられる。

（２）野党陣営の動き　～AD　予備選の統一候補を発表～

協議再開は難しそうだが、野党は２０２４年の大統領選に向けて準備を進めている。

目下の焦点は野党の統一候補を決めること。主要野党を中心に２０２３年に統一候補を決めるための予備選挙を行う方向で進んでいる。

８月１３日　「Efecto Cocuyo」は、「行動民主党（AD）」がカルロス・プロスペリ氏を AD の推薦候補として予備選に出馬させることを決定したと報じた。

プロスペリ氏は AD の実質的なリーダー、ラモス・アジュップ氏の右腕と言われる人物で、ラモス・アジュップ氏と基本的な方向性は同じと思われる。決して評判は良くないので、彼が統一候補に選ばれることは難しいのではないか・

主要野党では、他に「大衆意思党（VP）」が、グアイド議長を推薦候補として予備選に出馬させるという噂が流れている。

グアイド議長は知名度こそ高いが、２０１９年から現在まで政権交代を実現できなかった事実からネガティブな評価が多く、彼が統一候補に選ばれる可能性も低いのではないだろうか。

そうなると本命は「新時代党（UNT）」か「第一正義党（PJ）」あるいは独立野党「隣人の力（FV）」が擁立する候補。

ただし、FV は主要野党が実施する予備選が公平ではないと指摘しており、予備選に参加するかは確定していない。

また、急進野党「ベネズエラ主導党（VV）」のマリア・コリナ・マチャド党首も予備選への参加を宣言している。支持率の比較的高い候補ではあるが、予備選に参加するにあたって「選挙管理委員会（CNE）」が選挙に関与しないことを条件として提示している。

しかし、CNE のロベルト・ピコン役員（野党系の役員）は予備選に技術的なサポートを行うとの意思を示しており、実現した場合、急進野党が予備選への参加を辞退することも有り得そうだ。

POINT

コロンビアにペトロ政権発足。

マドゥロ政権、ペトロ新政権はそれぞれ大使を任命。

パドリーノ・ロペス国防相　軍事・国境に関する協力についてペトロ政権へ呼びかけ。

（３）外国の動き　～ベネズエラ・コロンビア　大使任命～

８月７日　コロンビアにグスタボ・ペトロ政権が誕生した。

コロンビア初の左派系政権ということで、マドゥロ政権との関係改善が期待されている。

ペトロ大統領は以前から、ベネズエラの大統領はマドゥロ大統領との認識を示しており、段階的な国交回復を宣言していた（「ベネズエラ・トゥデイ No.786」）。

特に国境での商取引の再開、入国管理の協調、領事活動の再開を目指しており、準備が進められている。

８月１１日　国交回復に向けた動きとして、マドゥロ政権およびペトロ政権がそれぞれ大使を任命した。

マドゥロ政権は在コロンビア・ベネズエラ代表大使として、フェリックス・プラセンシア元外相を任命。ペトロ政権は、コロンビアで国会議長を務めたこともある Armando Alberto Benedetti Villaneda 氏を在ベネズエラ・コロンビア代表大使に任命した（「ベネズエラ・トゥデイ No.792」）。

在コロンビア・ベネズエラ大使館のコントロール権は現在のところグアイド暫定政権にあると思われるが、大使を任命するということは、マドゥロ政権側が再び取り戻すことになりそうだ。

また、ベネズエラのパドリーノ・ロペス国防相は、ペトロ新政権に対して、軍事関係の改善および両国国境のゲリラの活動について協議するため意見交換の実施を呼びかけており、軍事面での関係改善もあり得そうだ。

なお、「ベネズエラ経団連（Fedecamaras）」のカルロス・フェルナンデス代表は８月１８日にコロンビアのペトロ大統領およびコロンビア政府関係者らと協議を行うと発表。両国の商取引について意見交換するとしている。

（４）今週、来週の主なイベント

８月１０日　野党国会は、コロンビアにあるベネズエラ石油化学公社「Pequiven」の子会社「Monomeros」の運営に関する調査を終了することを決定した（「ベネズエラ・トゥデイ No.792」）。
調査では、現社長のギジェルモ・ラプレア氏およびグアイド暫定政権が任命した Pequiven のディアナ・ブラチョ役員が背任行為を働いていたとの結論が出されている。

ただし、実際は Pequiven、Monomeros の役員任命には主要野党が深く関与しており、彼らの背任行為は主要野党の政治資金をねん出するためだった可能性は極めて高い。ラプレア社長も「事実から目を背けるための調査報告」と指摘しており、真相をうやむやにしたい主要野党がここで調査に終止符を打ったと思われる。

なお、ペトロ新政権は Monomeros の運営についてはすぐにマドゥロ政権に移動させる意思はないと明言しており、米国と調整した上で Monomeros のコントロールをマドゥロ政権に移譲する必要がありそうだ。

表：　８月７日～８月１３日に起きた主なイベント

日付		内容
８月　７日	日	コロンビア　ペトロ大統領が就任
８日	月	Covid-１９隔離緩和週
９日	火	
１０日	水	野党国会　Monomerosの調査に終止符
		コロンビア法人監督局　Monomerosを監視対象から外す
１１日	木	アルゼンチン裁判所　Boeing７４７機の差し押さえを承認
１２日	金	PDVSA　欧州向けの原油輸出を停止？
１３日	土	

表：　８月１４日～８月２１日に予定されている主なイベント

日付		内容
８月　１４日	日	
１５日	月	Covid-１９隔離緩和週
１６日	火	
１７日	水	
１８日	木	
１９日	金	
２０日	土	
２１日	日	

（５）債券の元利支払い状況

表：グレースピリオドの期限を迎える債券の現状（８月１２日時点）

（単位：１００万ドル）

種類	債券	猶予期間失効日	元本	利息
国債	国債１９	１１月１３日	2,496	483.6
	国債２４	５月１３日	0	1,029.6
	国債２５	６月２１日	0	611.9
	国債２６	６月２１日	0	1,762.5
	国債２３	１２月７日	0	900.0
	国債２８	１２月７日	0	925.0
	国債１８	７月１日	1,000	105.0
	国債２０	１月９日	1,500	315.0
	国債３６	７月２９日	0	1,625.0
	国債３４	２月１３日	0	632.8
	国債３１	３月５日	0	2,258.9
	国債１８	９月１５日	1,053	102.6
	国債１８Ｆ	９月１５日	0	40.8
	国債２２	３月２３日	2,000	1,721.3
	国債２７	４月１５日	0	1,665.0
	国債３８	４月３０日	0	394.2
グレースピリオド満了未払			8,049	14,573.2
	電力債１８	４月１０日	650.0	27.6
グレースピリオド満了未払			650.0	27.6
グレースピリオド切れの未払計			16,776.8	23,725

（出所）ベネインベストメント作成

種類	債券	猶予期間失効日	元本	利息
PDVSA債	PDVSA２６	６月１５日	0	1,350.0
	PDVSA２４	６月１６日	0	1,500.0
	PDVSA２１	１２月１７日	2,394	969.3
	PDVSA３５	６月１７日	0	1,462.0
	PDVSA２２０	３月１７日	3,000	1,721.3
	PDVSA２７	５月１２日	0	725.6
	PDVSA３７	５月１２日	0	371.3
	PDVSA２２	５月２７日	1,000	810.0
	PDVSA２０	１１月２７日	1,684	214.8
グレースピリオド満了未払			8,078	9,124.2
国債３４		８月１３日	0	70.3
国債３１		９月５日	0	251.0
グレースピリオド期間中未払			0.0	321.3
グレースピリオド期間含む未払計			16,776.8	24,046.3
総計				40,823.1

グレースピリオド期間中
政府組織１００％保有債券
グレースピリオド切れ（１回目）
グレースピリオド切れ（２回目）
グレースピリオド切れ（３回目）
グレースピリオド切れ（４回目）
グレースピリオド切れ（５回目）
グレースピリオド切れ（６回目）
グレースピリオド切れ（７回目）
グレースピリオド切れ（８回目）
グレースピリオド切れ（９回目）
グレースピリオド切れ（１０回目）

債務者	Grace Period 満了	Grace Period 期間中含む
政府	22,622.2	22,943.5
PDVSA	17,202.0	17,202.0

債務者	Grace Period 満了	Grace Period 期間中含む
電力公社	677.6	677.6
合計	40,501.8	40,823.1

２．急進野党政治家　娘婿の汚職ネットワーク

POINT

急進野党の著名政治家の娘婿 Vuteff 氏　１２億ドルのマネーロンダリングを行った容疑で国際指名手配。

（写真）Transparencia Venezuela　“Luis Fernando Vuteff 氏”

野党はマドゥロ政権の汚職を非難しているが、筆者は与党・野党限らずベネズエラで汚職に関与していない潔白な政治家がどれほどいるのかと思っている。

スイスで逮捕される。

２２年６月　スイスでアルゼンチン人 Luis Fernando Vuteff 氏（以下 Vuteff 氏）が逮捕された（「ベネズエラ・トゥデイ No.772」）。

容疑はベネズエラ政府との汚職。米国司法当局は、Vuteff 氏がベネズエラ政府との取引に関連して１２億ドルのマネーロンダリングを行ったと考えており、Vuteff 氏を国際指名手配していた。

急進野党政治家も汚職とは無関係ではない可能性あり。

Vuteff 氏は、野党の中でも特にマドゥロ政権と敵対する立場を取る急進野党の著名な政治家アントニオ・レデスマ元カラカス大首都区長の娘婿。

レデスマ氏と Vuteff 氏は、スペインで市民団体を設立するなど、両者の関係は疎遠ではなくレデスマ氏にも疑いの目が向けられ、最近は政治的な活動はほとんどしていない。

以下では、Vuteff 氏の保有する企業などについて紹介したい。

POINT

Vuteff 氏は、スペイン・アルゼンチン・米国・スイスなどに少なくとも１７の会社を所有。

１２億ドルの不審な資金送金が確認されたのは２０１４年で、それ以降複数の会社をスペイン・アルゼンチンなどで設立している。

確認されている情報によると、Vuteff 氏は少なくとも５カ国に１７の会社を保有していたことが判明している（詳細は９ページ参照）。１１社はスペイン、３社はアルゼンチン、１社は米国、１社はスイス、１社はパラグアイだという。

ただし、登記年まで特定されているのは１１社。
４社は２０１５年にスペインで登記され、５社は２０１６年に登記されており、４社はスペイン、１社は米国、２０１７年、１８年にそれぞれ１社スペインで登記されている。

ただし、これらの会社のうち現在も会社が存続していることが分かっているのは４社のみ。２社はスペイン、１社はスイス、残りの１社は米国だという。

問題となっている１２億ドルのマネーロンダリングは２０１４年に行われた。２０１４年、Vuteff 氏が保有する会社は６億ドルの送金を２回行っており、これがマネーロンダリングを疑われている。

Vuteff 氏の会社の共同株主として度々名前が上がる人物は José Vicente Amparan Cróquer 氏。米国マイアミ南部裁判所は Cróquer 氏について「マネーロンダリングのプロフェッショナル」として、Cróquer 氏にも国際指名手配をかけている。

また、Ralph Stheinmann 氏の名前も共同株主としてよく登場する。
Stheinmann 氏は、スイス人で同じくマネーロンダリングに関与したとして国際指名手配されている。

Vuteff 氏が保有する資産は定かではないが、確認できている情報では、アルゼンチンで２台の車と１００万ドルの預金があることが判明している。
また、スペインでは１１５の不動産が差し押さえられているという。

なお、Vuteff 氏の汚職については、汚職やコンプライアンスについてマドゥロ政権を強く非難する急進野党は沈黙している。

結局、急進野党も、身内に適用する正義と政敵に適用する正義が異なるという点でマドゥロ政権と大きく変わらないのが現実だろう。

表：　Luis Fernando Vuteffが関係する企業リスト

会社名	株主	役職	登記国
AF CONSULTORES Y ASOCIADOS S.A.	Luis Fernando Vuteff García María Alejandra Vuteff	Director Director	アルゼンチン
LIMMAT S.R.L.	Luis Fernando Vuteff García Mariana Vuteff	Director Director	アルゼンチン
ATLANTIA INGENIERIA DE NEGOCIOS SOCIEDAD ANONIMA	Luis Fernando Vuteff García Juan José Moratorio Amelotti	Director Accionista	パラグアイ
INVESTMENT CENTER HAUS SL	Luis Fernando Vuteff García Ignacio Sánchez Cumba	Director Director	スペイン
AB NEGOCIOS INGENIERIA GLOBAL SL	Luis Fernando Vuteff García Ignacio Sánchez Cumba	Director Director	スペイン
LINDERO AGRO S.A.	Luis Fernando Vuteff García Sergio Ernesto Bonas	Director Director	アルゼンチン
Adax Swissinvest Asset Management AG	Luis Fernando Vuteff García Erwin Josef Stheinmann Ralph Stheinmann	Director Director Presidente	スイス
COLUMBUS ONE PROPERTIES COMMERCIAL REAL ESTATE 1 SL	Luis Fernando Vuteff García LATORRE & ASOCIADOS CONSULTORIA SL	Representante Legal Accionista	スペイン
COLUMBUS ONE PROPERTIES COMMERCIAL REAL ESTATE 1 SL	José Vicente Amparan Croquer Ralph Stheinmann CHESA PROPERTIES SL	Representante Legal Representante Legal Accionista	スペイン
COLUMBUS ONE PROPERTIES COMMERCIAL REAL ESTATE 2 SL	Luis Fernando Vuteff García Ralph Stheinmann Columbus One Properties SL José Vicente Amparan Croquer Roberto José Torre Gimeno	Director Representante Legal Accionista Representante Legal Liquidador	スペイン
CHESA PROPERTIES SL	Luis Fernando Vuteff García Ralph Stheinmann José Vicente Amparan Croquer	Director Director Consejero	スペイン
COLUMBUS ONE PROPERTIES HOSPITALITY SERVICES SL	Luis Fernando Vuteff García Ralph Stheinmann CHESA PROPERTIES SL	Administrador Administrador Accionista	スペイン
COLUMBUS ONE PROPERTIES HEALTHCARE FACILITIES 1 SL	Luis Fernando Vuteff García CHESA PROPERTIES SL José Vicente Amparan Croquer Ralph Stheinmann	Representante Legal Accionista Representante Legal Representante Legal	スペイン
CHESA PROPERTIES MANAGEMENT SL	Luis Fernando Vuteff García CHESA PROPERTIES SL José Vicente Amparan Croquer Ralph Stheinmann	Representante Legal Accionista Representante Legal Representante Legal	スペイン
BONORVA INVESTMENTS SL	Luis Fernando Vuteff García Francisco Gómez Fructuoso DIRECTORSHIP CIBELES SL José Vicente Amparan Croquer	Secretario Representante Legal Administrador Presidente	スペイン
COLUMBUS ONE PROPERTIES HOTELS SL	Luis Fernando Vuteff García CHESA PROPERTIES SL José Vicente Amparan Croquer Ralph Stheinmann	Representante Legal Accionista Representante Legal Representante Legal	スペイン
HARPER INTERNATIONAL CONSULTING LLC	JURIS MAGISTER LLC, agent Luis Fernando Vuteff García	Agente	米国

（出所）SUPERMA in Jsticia

POINT

ベネズエラには原油以外にも多くの鉱物資源が埋蔵されている。

特に GOLD は原油に次ぐ資源産業として、マドゥロ政権が注力しているが、汚職が横行しているとの指摘が絶えない。

３．ベネズエラの GOLD 違法採掘

ベネズエラは鉱物資源の豊かな国で原油以外にも多くの資源を有している。

特にボリバル州の「オリノコ鉱物アーチ（Arco minero del Orinoco)」と呼ばれる１１万１，８４３平方キロメートルの地域には、「GOLD（ORO)」、「鉄（Hierro)」、「ボーキサイト（Bauxita)」「コルタン（Coltan)」「ダイヤモンド（Diamante)」「大理石（Granito)」「マンガン（Manganeso)」などが多く埋蔵されている。

これらの鉱物資源の中で、産業として最も大きいのは GOLD。
あまり知られていないが、ベネズエラは GOLD の生産国の１つで、特に政府ぐるみの違法採掘により GOLD がクラサオ経由で世界中に流れているといわれている。

今回はベネズエラの GOLD 産業と違法採掘の実態について紹介したい。

POINT

GOLD 採掘をするためには政府５５％株主の合弁会社を設立する必要がある。

採掘した GOLD は原則全て中央銀行への売却義務があるが、実際は採掘された GOLD のほとんどが違法に流れているという。

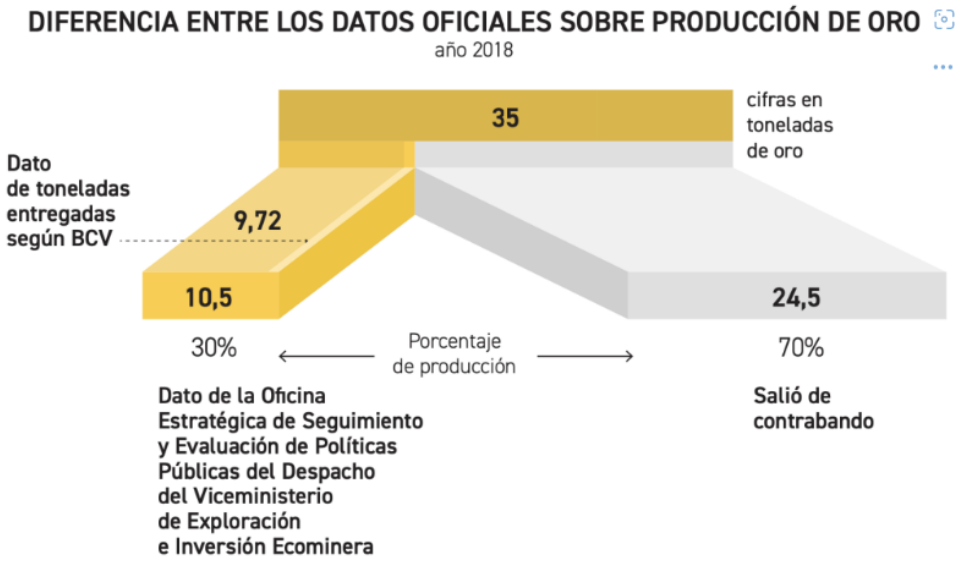
GOLD に関する法律の中でも最も重要なのは、２０１１年に故チャベス政権時代に発行した「GOLD 採掘活動国家保有法（大統領令８，４１３号)」だ。

この法律により GOLD の採掘活動は原則、国に主導権があり、GOLD 採掘を行う会社を設立する場合は政府の株式保有率が５５％を超えることが義務付けられている（同スキームで設立された会社リスト）。

そして、採掘した GOLD は全てベネズエラ中央銀行に対して売却することが定められている。

しかし、実態は採掘された全ての GOLD が中央銀行に売却されているわけではなく、政府関係者が賄賂を受け取ることで活動を容認する違法採掘の業者も多く存在するという。

鉱物開発省の発表によると、２０１８年にベネズエラは年間で３５トンの GOLD を採掘したという。しかし、汚職問題を調査する民間団体「Transparencia Venezuela」によると、そのうち中央銀行に売却されたのは３０％に相当する１０．５トンで、７０％に相当する２４．５トンは違法な市場に流れていたという。



（写真）Transparencia Venezuela

POINT

調査会社の試算では、違法に売却された GOLD は年間１４．７～１８億ドル。

２０２１年の OECD の報告書では、ベネズエラの GOLD 採掘量について予測するのは極めて困難と前置きしつつも、年間７５トンの GOLD 採掘が可能と予想している。この採掘量は時価にして４４億ドルに相当する。

しかし、「Transparencia Venezuela」が同年に経済金融省の内部関係者に聞いたところによると、ベネズエラの GOLD 採掘量は年間２５～３７．５トンほどで OECD の予想の３分の１程度だという。

なお、「World Gold Council」は、２０１６年時点のベネズエラの GOLD 採掘量について年間２３トンと予想、２０２０年は３３．４トンとしている。

経済調査会社「Ecoanalitica」の試算によると、現在の年間 GOLD 採掘量を３０～３７トンと仮定、中央銀行への売却割合が２５％、違法採掘業者の取り分が３０％、汚職（政府関係者など）ネットワークへ流れる分が４５％とした場合、中央銀行に７．５～９トン（５億～５．８億ドル）相当の GOLD が売却され、
違法採掘業者は９～１１トン（６～７億ドル）相当を受け取り、
汚職ネットワークに１３．５～１７トン（８．７～１１億ドル）が流れるとしている。

つまり、GOLD 売却により合計で年間１９．７～２３．９億ドル相当の収入が見込めるが、そのうち１４．７～１８億ドルが違法採掘業者と汚職ネットワークに流れることになるという。

Distribución de la explotación del oro por actor

Actor	Proporción	Toneladas anuales	Millones de USD/ anuales
BCV	25%	7.5 - 9	500 - 580
Grupo irregulares	30%	9 - 11	600 - 705
Red de corrupción	45%	13.5 - 17	870 - 1.100
		30 - 37	**1.970 - 2.385**

Fuente: Ecoanalítica y voceros del MInisterio de Economía, Finanzas y Comercio Exterior en declaraciones extraoficiales.

債券・経済指標の動き

４．ベネズエラ債券・経済指標の増減（８月１２日時点）

債券	取引価格	先週比
国債	8.00	0.00
PDVSA	4.50	0.00
PDVSA20	18.00	0.00
カラカス電力	1.50	0.00

資源		取引価格	先週比
原油	WTI	91.88	3.22
	Brent	98.01	0.83
	Venezolano Merey(7 月)	84.72	-8.16
GOLD(オンス)		1,800.9	1.48

	百万ドル	先週比
外貨準備(木曜時点)	10,336	0.51

為替レート	ボリバル／ドル	先週比
両替テーブル	5.978	1.91
並行レート	6.060	1.51

（出所）Avsecurity、ベネズエラ中央銀行、Dolar Today
WTI、ブレント価格は Investing.com
Venezuela Merey は OPEC Monthly Report
* Merey のみ先月比

解説

原油価格は先週比プラスに転じた。

OPEC は、ベネズエラ原油の７月の平均価格を発表。７月のベネズエラ原油（Merey）は１バレル８４．７ドルと先月比８．２％減だった。

外貨準備は、長期的にはゆるやかな減少傾向にあるものの、大きくは変わらず１０３億３，６００万ドル。

為替レートはボリバル安の傾向が続いており、公定レート（両替テーブル）でも１ドル６ボリバルになりそうな勢いだ。

以上